

羽
古代の戦争で、戦況が不利になり、援軍派遣の要請を書いて味方に送った木の札を「檄」と呼んだ。「檄をとばす」の語源であり、緊急事態であることを示すために、先頭に鳥の羽根をつけたという。
(紙)

三糸市請願撤次記念館
漢字文化理解力特定委員会
監修

日鉄工材(上越)

県内初の経営品質賞

優れた経営の仕組みを持つ企業を顕彰する2020年度の「日本経営品質賞」に、金属加工の日鉄工材(上越市)が県内で初めて選ばれた。08年秋のリーマン・ショック後もリストラをせずに再建を図り、高付加価値の製品を生み出している点が評価された。

同賞は日本生産性本部(東京)が設立した日本経営品質賞委員会の主催で、1996年に始まった。25回目の今回は、同社のほか県外の3社が受賞した。日鉄工材は日本製鉄(同)の子会社で、各種合金の加工・販売を手掛ける。20年3月期の売上高は47億7千万円。リーマン・ショック後は一時赤字に転落したが、リストラには頼らず、電子機器などに使われる銅

受賞を花角英世知事に報告する日鉄工材の宮原光雄社長(左) 9日、県庁



箔製造用の「電着ドラム」の高品質化や業務の効率化

などを進めて業績を回復させた。顧客との交流や社内の組織風土の改善などにも積極的に取り組んでいる。

9日、県庁で花角英世知事に受賞を報告した日鉄工材の宮原光雄社長は「社員がやりがいを持って仕事をし、優れた製品を提供することで、お客様や社会の発展に貢献するというサイクルで取り組んできた。今後にも挑戦を続けたい」と喜びを語った。花角知事は「新潟の誉だ。さらなる成長を期待している」と祝福した。

にいがた経済

Biz Niigata